

日進市 家具の地震対策

高齢者・障害者世帯の家具類の転倒防止金具の取付けを
市内在住で、65歳以上の高齢者のみの世帯、身体障害者手帳・療育手帳・
精神障害者福祉手帳を受けている人がいる世帯、義務教育就学中または
就学前の子がいる母子世帯

無料
実施!



安定板

タンスの下に置くだけ

フラット

地震がいつ起きても大丈夫な、家具対策を考えていますか？

奥行きがなく、高さが高い家具は地震時には転倒しやすくなります。また、家具が転倒しない場合でも、引き出しがとびだしたり、観音開きの戸などが開いて中の物が落下したり、食器やピンがガラス戸にぶつかってガラスが割れて飛び散ったりします。

家具類以外でも、ピアノ、オルガンなどの楽器類、掛時計や額などの柱や壁に掛けてある装飾品やシャンデリアなどは、地震により、転倒、落下、あるいは移動したりして危害を及ぼすおそれがあります。

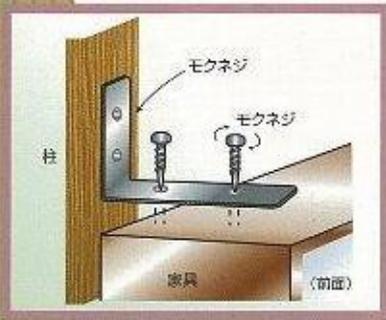
タンス、本棚などの家具は倒れないように金具などを用いて柱などに固定しておきましょう。家具の上の置物や棚の物が落ちないように奥の方に置いたり、ひもで止めたりしておきましょう。掛時計や額、電灯などは金具を用いてしっかり止めておきましょう。

また、石油ストーブなどの火気器具は、家具などが転倒、落下してくるおそれのある場所を避けて使用するようにしましょう。

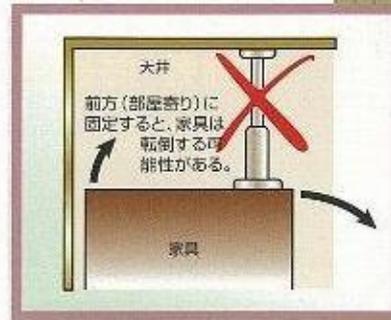
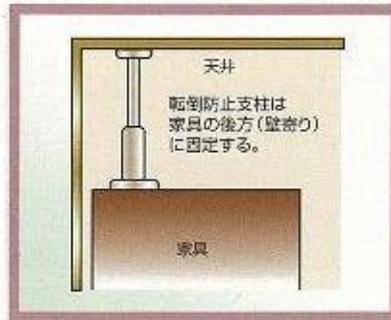
家具や壁の形態ごとの転倒防止対策

●家具と壁体等とを固定する方法●

[L型金具で2カ所を固定する]



[家具転倒防止支柱で2カ所を固定する]

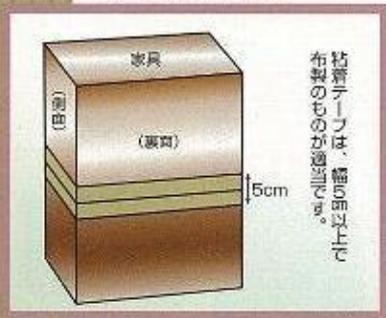


[釘と針金で2カ所を固定する]

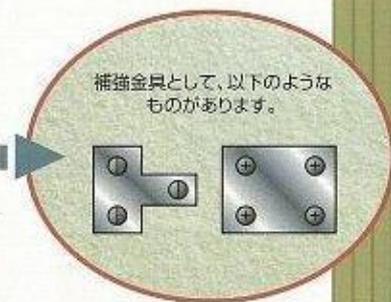
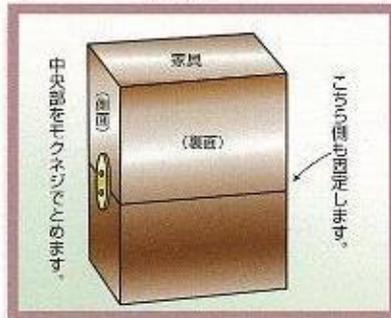


●二段、三段重ねの家具を安定させる方法●

[粘着テープで表面や両側の継ぎ部分を貼る]



[両側の継ぎ部分を補強金具で固定する]



壁面等の構造上の理由で、直接家具を固定することができない場合の対策。

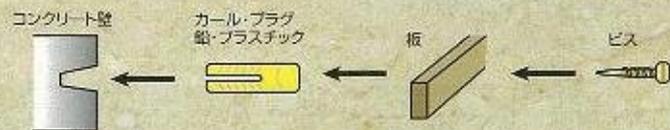
[マンション等のコンクリート壁面に固定する]

コンクリート壁面にドリルで穴をあけ、カールブラグを差し込み、さらにビスをネジ込んで補強横架材(ぬき板等)を取付けたうえで、先に説明した方法等を利用して家具を固定します。

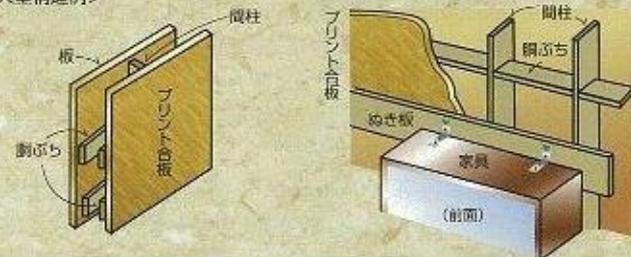
[大壁(柱のみえない壁)に固定する]

間柱、胸ぶちのみつけ方は、金づち等で軽く表からたたいて、音の変化で見極めます。

間柱と間柱の間に補強用の横架材(ぬき板等)を取付けて、これに家具を固定します。



<大壁構造例>



お問い合わせ先

日進市 防災交通課 危機管理係

TEL 0561-73-3279